

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医薬品消費者相談等体制整備事業	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	医薬食品局	担当課室	総務課	課長 中垣 英明		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	薬事法の一部を改正する法律案に対する附帯決議 (平成18年4月18日 参・厚生労働委員会)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	改正薬事法の趣旨を踏まえ、新たな一般用医薬品販売制度の実効性を確保するため、国民の立場から改正法の遵守状況を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図るもの。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するため、平成21年度に一般消費者としての調査員を選定し、全国の薬局、店舗販売業者等を訪問の上、その店頭等において覆面で調査を実施。					
実施状況	全国の薬局、店舗販売業者の店舗等約4,000件に対して調査を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	26	18	29
	執行額	-	-	17		
	執行率	-	-	65.4%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	17		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	平成21年度に実施した調査報告の内容を精査した上で、各都道府県において新たな一般用医薬品販売制度の適切な運用について有効活用できるようなフィードバックを検討しているところ。 また、調査結果については公表し、各方面において活用いただくことを考えている。				
	見直しの余地	平成21年度の調査実績を踏まえ、予算額を実績ベースに見直しを行った。 また、今回の調査結果を踏まえて平成22年度以降も継続的に改正薬事法の定着状況の把握に努めるとともに、調査対象や手法について改善を加えるなど、より効果的・効率的な調査手法を検討する。				
予算・監視の効率化	改正薬事法に基づく、新たな一般用医薬品販売制度の適正化に必要な経費であるが、21年度の執行実績を踏まえ、22年度予算において見直しを行っており、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省
17百万円
新たな販売制度の導入に伴う定着状況の調査



【一般競争入札】

A. (株)インテージリサーチ
17百万円
定着状況調査の受注

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 株式会社 インテージリサーチ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	一般用医薬品販売制度定着状況調査 1式	17			
計		17	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0